

出前講座報告書

実施日時	2021年6月24日 10:30~11:30	主催者名	藤代健生デイケア科
講師名	木村匡宏	会場名	藤代健生第2デイケア棟
テーマ	新型コロナとワクチンについて		
参加人数	17人(うちスタッフ2人)	報告者	鈴木健仁 木村匡宏
<p>《質問された内容など》</p> <p>【講座内容】</p> <p>○そもそもウイルスとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目に見えない小さな生物。細菌の1/50の大きさ。・人の細胞に入って、自分をコピーして数を増やす。 <p>○コロナウイルスの特徴と治療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な症状は味覚がおかしくなる。・無症状の人が多いのも感染拡大の原因。・当初は治療方法が未確立 → 様々な経験から治療方法が確立されてきた。コロナウイルス感染で免疫が暴走することで重篤化することが分かり、免疫を抑える薬を用いることで悪化予防できることがわかってきた。 <p>○予防するためには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密を避ける。・マスク※などをして飛沫感染を防ぐ。・手洗いを念入りに、30秒以上かけて。・帰宅してすぐ着替える。アルコール消毒(60%~70%)、次亜塩素酸ナトリウム(0.05%) <p>○家庭でウイルスを予防するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気と湿度(50~60%)に注意する。・こまめに共有部分を消毒する。・ドアノブ、蛇口、スイッチ、リモコン。・食事は別々に盛り付け。・トイレは蓋を閉めて水を流す。 <p>○病院で行われる検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査(ウイルスがいるかどうか判断、ウイルスの遺伝子を増やして判断、時間がかかる) ・抗原検査(ウイルスがいるか判断、ウイルスのたんぱく質を検出) <p>○ワクチンとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の中に毒性を弱くしたウイルスのもとなどを入れ、免疫力を持たせ抵抗力を持たせる予防法。今回のファイザーやモデルナ製のコロナワクチンはインフルエンザワクチンとは違う作り方をしている。現在世界中で使われているワクチンの有効率はメーカーによって違い70~95%。(ファイザー、モデルナ製は94.5%~95%と言われている。)インフルエンザは40~60%。 <p>○コロナワクチンの有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種で発症率は20分の1と言われている。 ・重症化予防の評価はできていないが公表されているデータを見る限り効果がある可能性が高い。 ・変異型はウイルスの突起が少し変化、効果は若干下がる可能性はありますが予防効果はあります。 <p>○ワクチンの安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約272万回の接種のうちアナフィラキシーと疑われる例は633件(確定は94件)。 ・アナフィラキシーを起こした方のほとんどは接種後30分以内に症状が現れている。アナフィラキシー自体も治療可能で接種会場ではこうした状況にも対処できるようになっている。 <p>○大事なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が誰かにうつすかもしれないと思って行動する。 ・体調が悪ければ外出せず休む。 			

・個人でできる感染対策はこれからも続ける。

・ワクチン接種を受けるかどうかは本人が決めますが自分と違う選択をする方にも寛容に。

・ワクチン接種予約は焦らずに。

【質問内容、感想等】

・接種するワクチンのメーカーは選べますか？

・来年度からもワクチン接種は必要ですか？必要な場合、費用はどうなりますか？

・糖尿病があってもワクチンは接種できますか？

・結局ワクチンは打った方がいいんですか？・・・など多数あり

《気づいたことや今後の教訓など》

・関心が高い内容であったのか時間いっぱいまで質問が途切れませんでした。参加者ご自身なりにワクチンの有効性や安全性などをしっかり調べている方も複数名見られました。

今回のテーマの関心度は高いと思いますので、今後また同じテーマで依頼を受ける際、講師はそれなりの準備をしていくことが肝要かと思います。

